



三年先の稽古

令和6年7月1日
第19号

発行責任者：校長 亀田征利

教育目標

～ 夢を求め、健やかに
温かい生徒の育成 ～

た たくましく健やかな生徒
い いのちを尊ぶ温かい生徒
しん 真実と夢を追求する生徒

7月1日（月）全校朝会：教頭先生

7月1日（月）の朝会は、齋藤和弘教頭先生に話しをしていただきました。たいへんためになる話でした。私自身、「なりたい自分」を追い求め努力していきたいと考えました。

<教頭先生の話>

先週は、期末テスト、実力テストがありました。テストに向けた自身の取組はどうだったでしょうか？今日は、テストが終わった節目に、考えてもらいたいことがあります。

現代は、科学技術の進歩によって、私たちを取り巻く環境は複雑さを増し、5年後、10年後がどうなっているのか、見通しが困難な時代です。

そんな変化の激しい、不透明な社会を生き抜くために必要な力。「自律」する力、「自律力」についてお話しします。

先生が考える「自律力」とは、「自分で考えて、人生を切り拓く力」です。この「自分で考えて、人生を切り拓く力」を中学校3年間を通して、皆さんには高めてほしいと思っています。

ポイントは、5つです。

- ① 「なりたい自分」や「目標」、「あこがれ」を見つける。
- ② 「自分の持ち味」や「自分のものの見方や考え方」を知る。
- ③ 「周りの人の持ち味」や「周りの人のものの見方や考え方」を知る。
- ④ 「チャレンジ」する。
- ⑤ 「他人との比較」をやめて、「自己ベスト」を目指す。

つまり、皆さんには、中学校3年間を通して、「なりたい自分」を意識し、自分を見つめ、他者との関わりの中で成長のためにチャレンジしてほしいと思っています。しかし残念ながら、チャレンジには、失敗や挫折がつきものです。誰も失敗や挫折はしたくないので、チャレンジすることに臆病になってしまい、「現状維持」を選択しがちです。だからこそ、「なりたい自分」を意識する必要があります。失敗も成長の材料であると前向きに捉え、チャレンジしてほしい。そういうものの考え方をしてほしいと考えています。そしてチャレンジを通して獲得した力を、「精力善用」の考え方で世の中のため、人のためにつかい、「自他共栄」を目指すことで「自己実現」につながれたら、こんなにすばらしいことはないと思っています。

ぜひ今日から、「なりたい自分」に近づくために、失敗を恐れずチャレンジしていきましょう。

